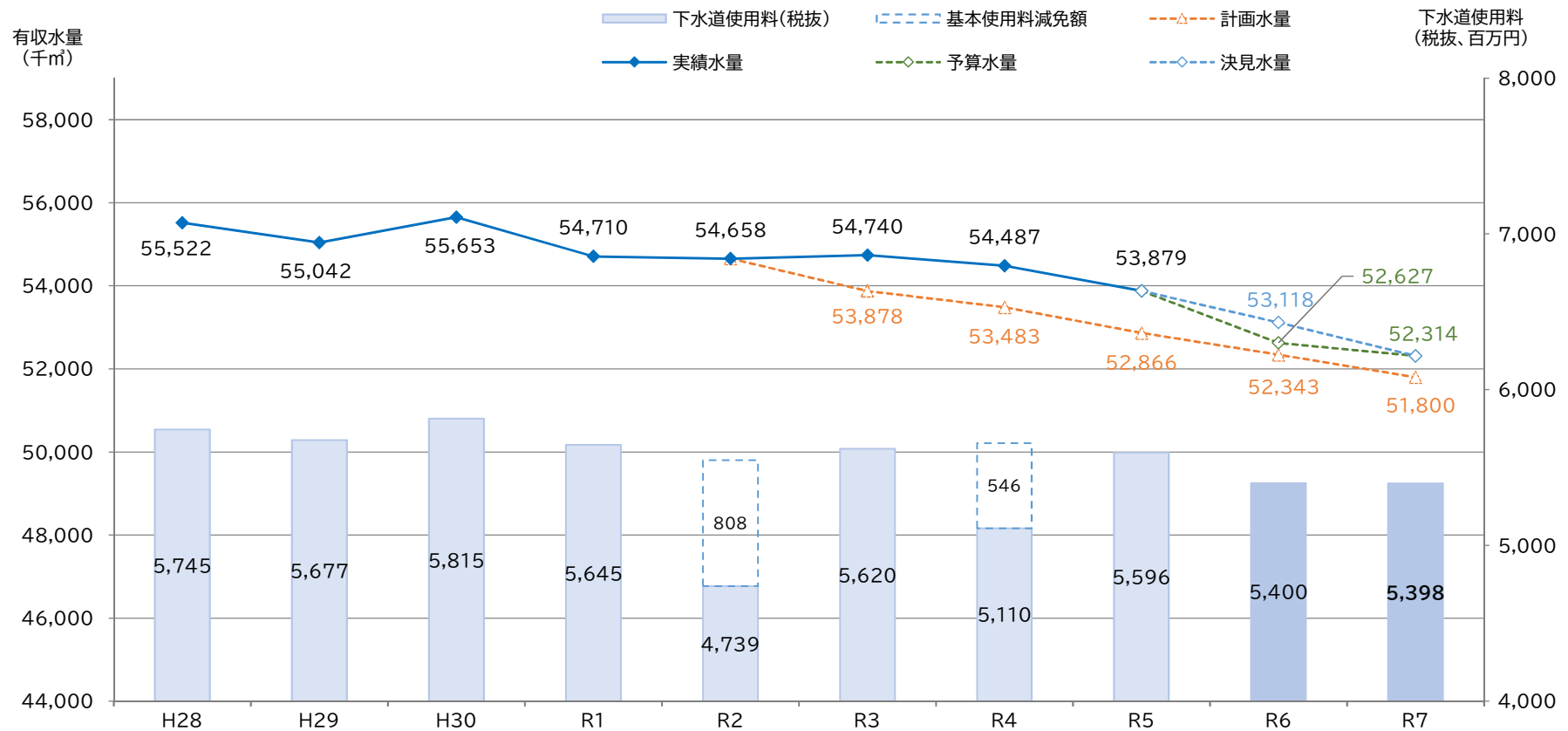


# <下水道事業会計>

## 1. 業務の概要

区分	令和7年度	令和6年度	増減	増減率
有収水量※	52,314,000 m <sup>3</sup>	52,627,000 m <sup>3</sup>	△ 313,000 m <sup>3</sup>	△ 0.6 %

※ 有収水量 = 下水道に流入する汚水のうち、使用料収入の対象となる水の量

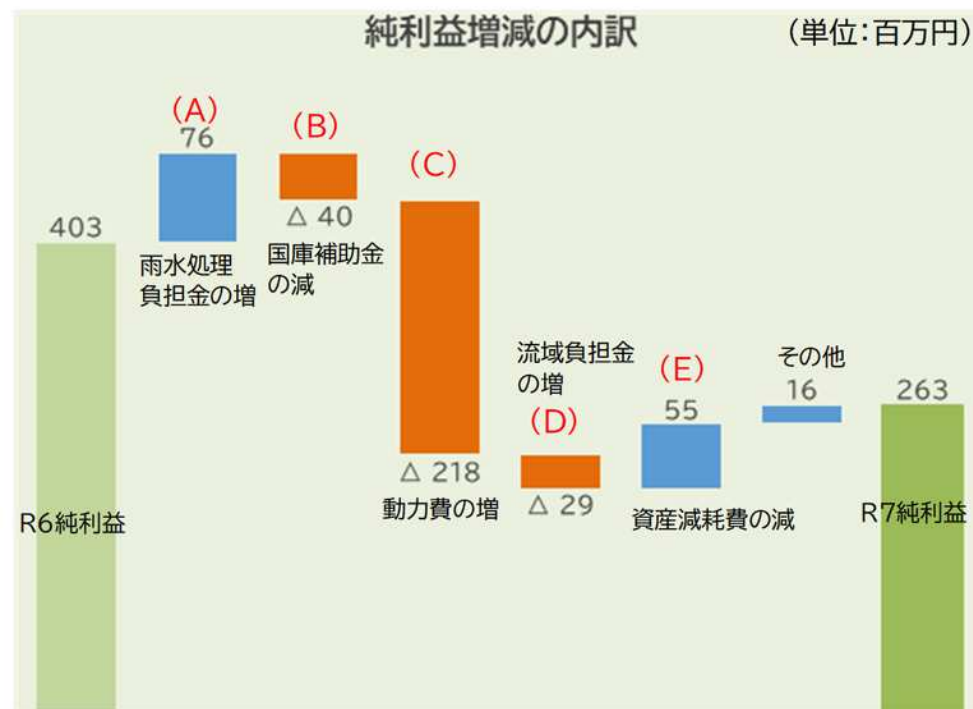


◆ 有収水量は、工業用水ユーザーで0.8%増加、水道の利用者で0.7%減少し、水量全体では0.6%の減

## 2. 収益的収支と資本的収支(フローの視点)

(税込、単位:百万円)

区分		令和7年度	令和6年度	増減額	増減率	
収益的 収支	経常 損益	収入	13,595	13,429	① 166	1.2%
		支出	13,030	12,870	② 160	1.2%
		差引	565	559	6	
	特別 損益	収入	0	0	0	0.0%
		支出	4	4	0	0.0%
		差引	△ 4	△ 4	0	
合計 (当年度純利益)		③ 561 (263)	555 (403)	6 (△ 140)		
資本的 収支	収入	3,294	4,780	④ △ 1,486	△ 31.1%	
	支出	8,141	8,071	⑤ 70	0.9%	
	差引(ア)	△ 4,847	△ 3,291	△ 1,556		
補てん財源(イ)		4,282	4,330	△ 48	△ 1.1%	
資金収支(ア+イ)		△ 565	1,039	△ 1,604		
資金残高		⑥ 18,335	18,900	△ 565		



- ◆ 収益的収支の収入全体は1億7千万円の増加 (①)、支出全体は1億6千万円の増加 (②)、純利益は1億4千万円減少して2億6千万円 (③) の見込み
- ◆ 資本的収支の収入は14億9千万円の減少 (④)、支出は7千万円の増加 (⑤) の見込み
- ◆ 資本的収支で不足する額5億7千万円は、建設改良積立金などの自己財源で補てんし、年度末の資金残高は183億4千万円 (⑥) の見込み

## 収益的収支(1/2)

### 収益的収入

(税込、単位:千円)

款 性質	令和7年度	令和6年度	増減額	主な増減理由
下水道事業収益	13,595,364	13,428,762	166,602	
經常収益	13,595,363	13,428,761	166,602	
下水道使用料	5,937,519	5,939,671	△ 2,152	有収水量△0.6%
雨水処理負担金	4,415,366	4,339,132	(A) 76,234	雨水処理に係る維持管理経費の増
他会計負担金	71,575	62,690	8,885	
他会計補助金	9,053	7,245	1,808	
長期前受金戻入	2,914,182	2,901,160	13,022	ポンプ設備改築工事の増
その他収益	247,668	178,863	(B) 68,805	消費税還付金の増、国庫補助金の減
特別利益	1	1	-	

### 収益的支出

(税込、単位:千円)

款 性質	令和7年度	令和6年度	増減額	主な増減理由
下水道事業費用	13,034,187	12,874,135	160,052	
經常費用	13,030,187	12,870,135	160,052	
人件費	555,749	546,803	8,946	
給料・手当等	458,976	453,155	5,821	職員数±0人(55人←55人)
退職給付費	96,773	93,648	3,125	
動力費	534,061	293,949	(C) 240,112	包括委託契約分(市の調達に変更)の増
流域下水道維持管理負担金	1,545,711	1,513,349	(D) 32,362	雨水処理経費の増
流域下水道污泥処理負担金	95,388	92,318	3,070	
減価償却費	6,541,185	6,528,168	13,017	ポンプ設備改築工事の増
資産減耗費	94,130	148,644	(E) △ 54,514	残存価格相当額の減
支払利息	347,180	356,533	△ 9,353	平均借入利率の減
物件費	3,316,783	3,390,371	△ 73,588	委託料の減
特別損失	4,000	4,000	-	

# 収益的収支(2/2)

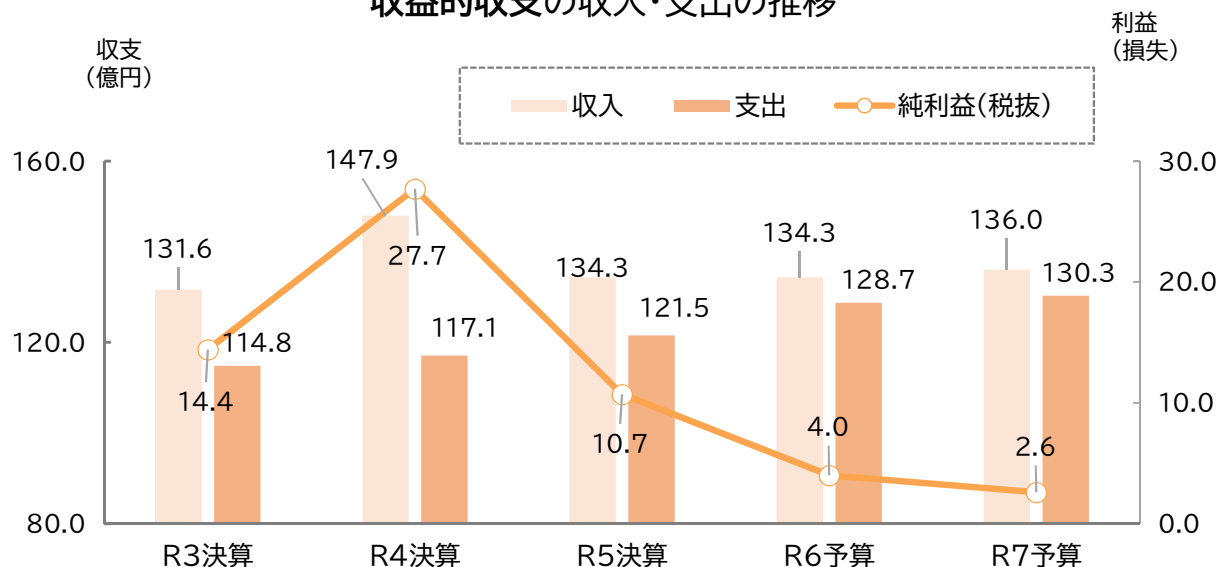
## 収益的収入

- ◆ 有収水量は、工業用水ユーザーで0.8%増加、水道の利用者で0.7%減少し、下水道使用料全体では前年度とほぼ同額。
- ◆ 雨水処理負担金などの増加により、収入全体では1億7千万円の増

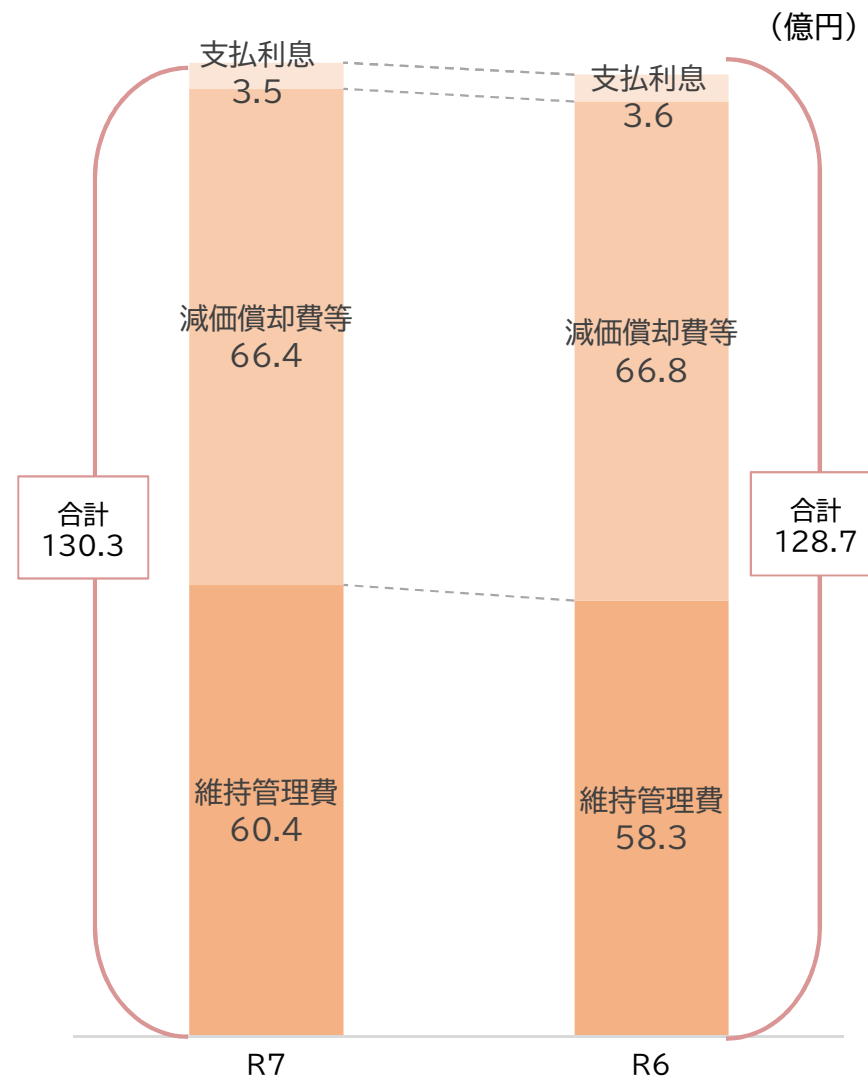
## 収益的支出

- ◆ 支出全体では、資産減耗費は減少したものの、動力費や流域下水道維持管理負担金などの増加により、1億6千万円の増

収益的収支の収入・支出の推移



収益的支出の比較



# 資本的収支

## 資本的収入

(税込、単位:千円)

款 性質	令和7年度	令和6年度	増減額
下水道事業資本的収入	3,293,877	4,779,721	△ 1,485,844
企業債	1,400,000	1,372,100	27,900
国庫補助金	1,780,506	2,764,200	△ 983,694
他会計補助金	1,089	570,614	△ 569,525
負担金	112,281	72,806	39,475
固定資産売却代	1	1	-

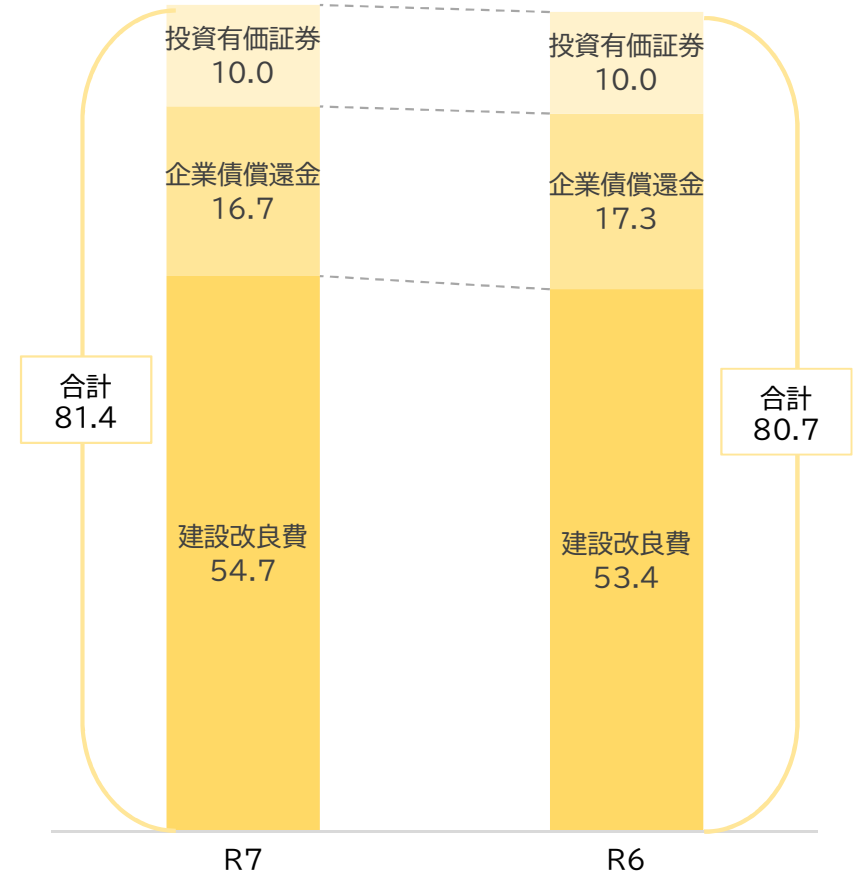
## 資本的支出

款 性質	令和7年度	令和6年度	増減額
下水道事業資本的支出	8,141,070	8,070,415	70,655
人件費	273,396	254,953	18,443
建設改良費	5,192,584	5,087,159	105,425
企業債償還金	1,674,090	1,727,303	△ 53,213
投資有価証券	1,000,000	1,000,000	-
予備費	1,000	1,000	-

- ◆ 資本的収入では、国庫補助金の減少などにより、14億9千万円の減
- ◆ 資本的支出では、企業債償還金は減少するものの、公共下水道整備費の増加などにより、7千万円の増

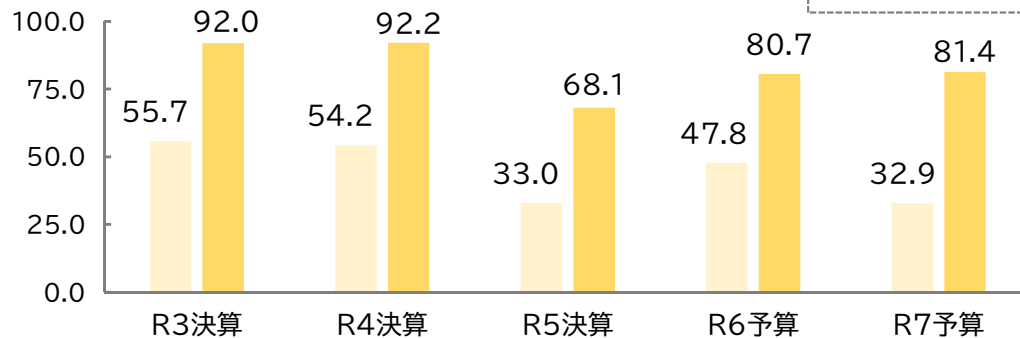
## 資本的支出の比較

(億円)



## 資本的収支の収入・支出の推移

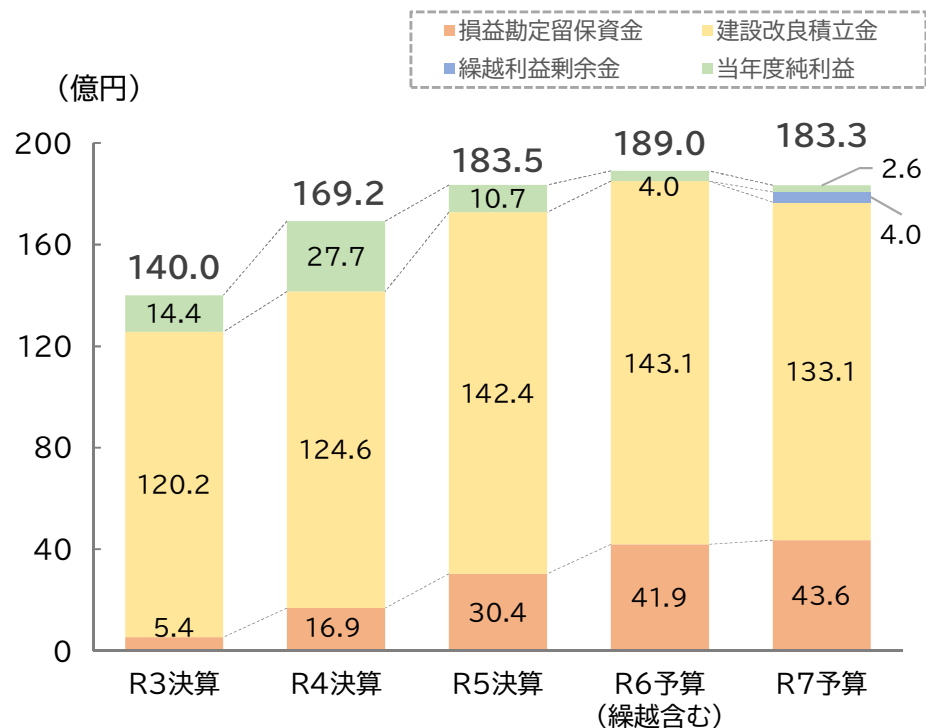
(億円)



### 3. 累積資金残高と企業債(ストックの視点)

#### 累積資金残高

累積資金残高の推移

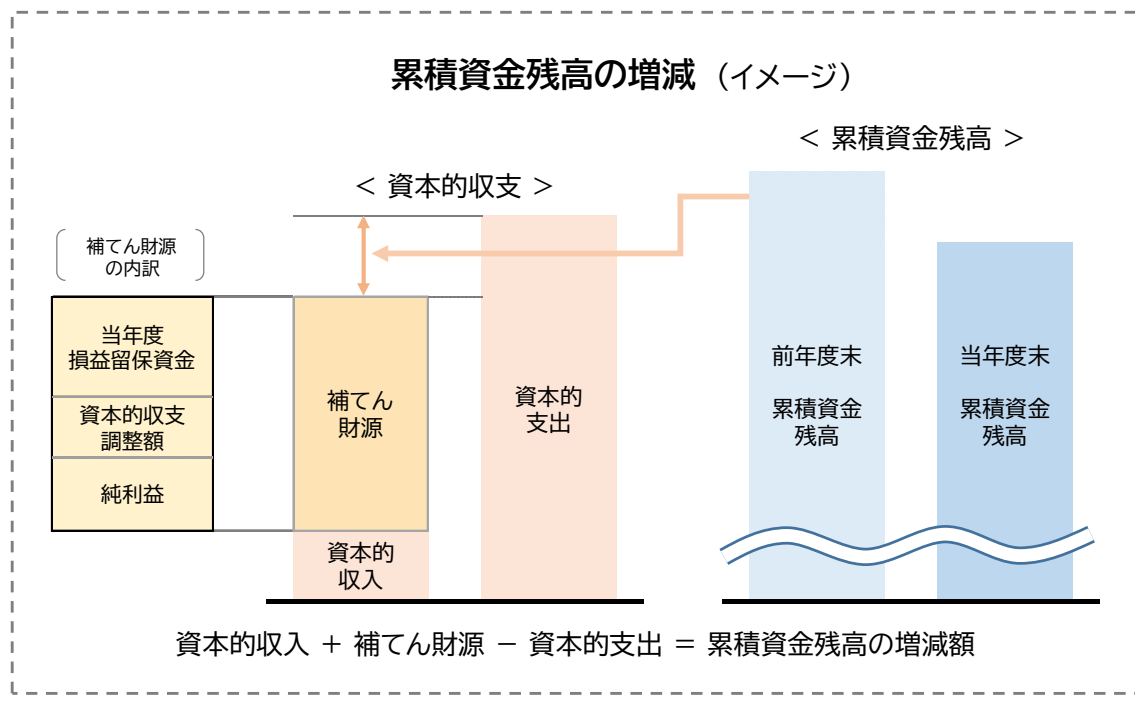


資金収支の推移

(単位:百万円)

	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算 (繰越含む)	R7予算
資本的収支の差(A)	△ 3,625	△ 3,794	△ 3,509	△ 3,779	△ 4,847
補てん財源(B)	5,373	6,708	4,939	4,330	4,282
資金収支(A+B)	1,748	2,914	1,430	551	△ 565

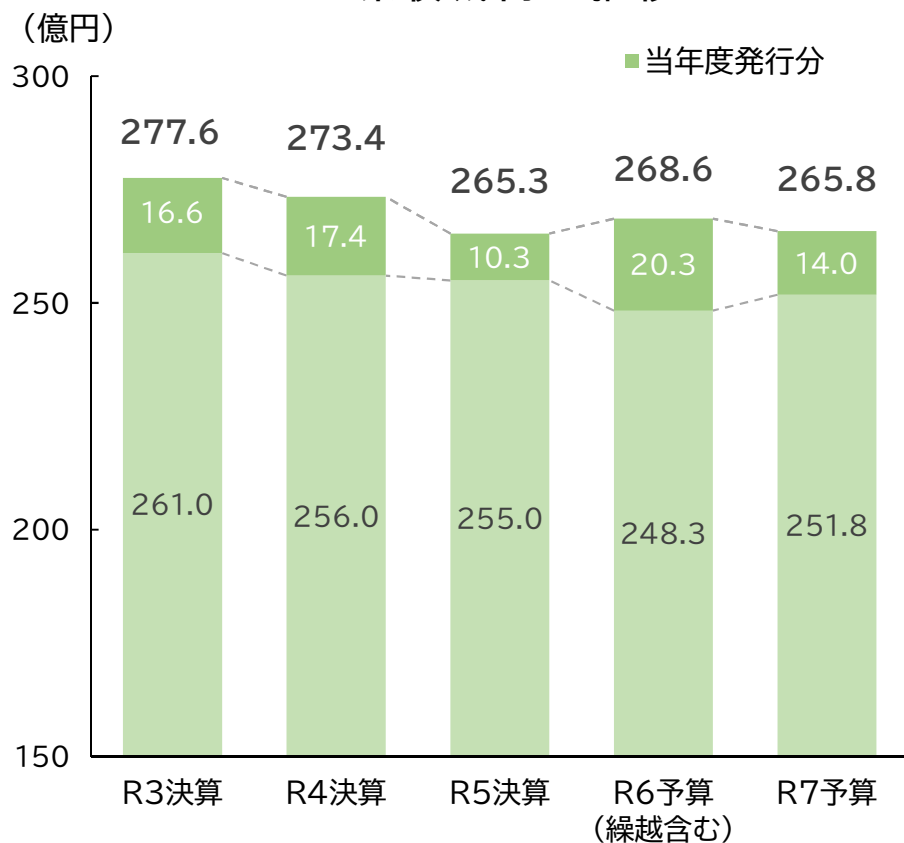
累積資金残高の増減 (イメージ)



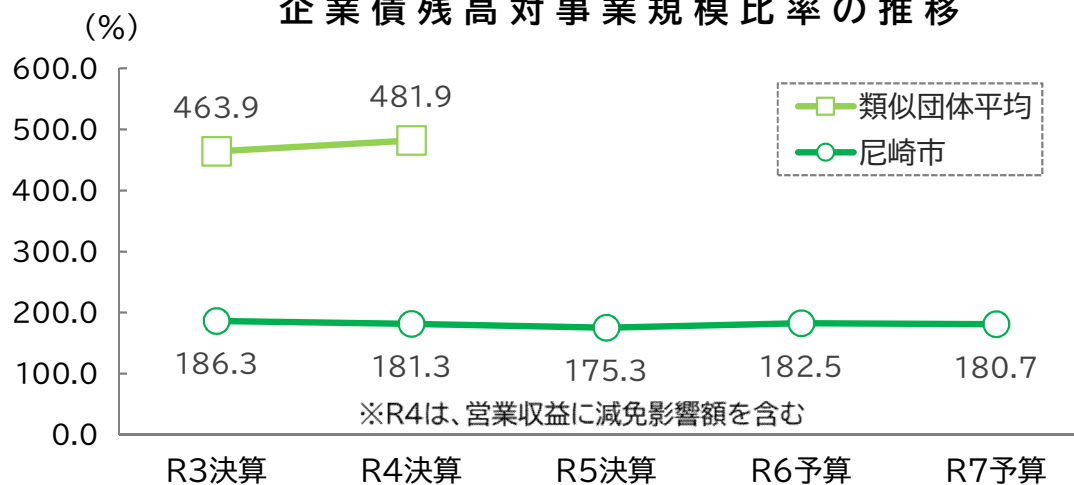
- ◆ 令和7年度末の累積資金残高は、令和6年度末と比較して5億7千万円減少し、183億3千万円の見込み

# 企業債

## 企業債残高の推移



## 企業債残高対事業規模比率の推移



$$\text{企業債残高対事業規模比率} = \frac{(\text{企業債残高} - \text{一般会計負担額})}{(\text{営業収益} - \text{受託工事収益} - \text{雨水処理負担金})} \times 100$$

※類似団体は処理区域内人口10万人以上かつ人口密度100人/ha以上の団体

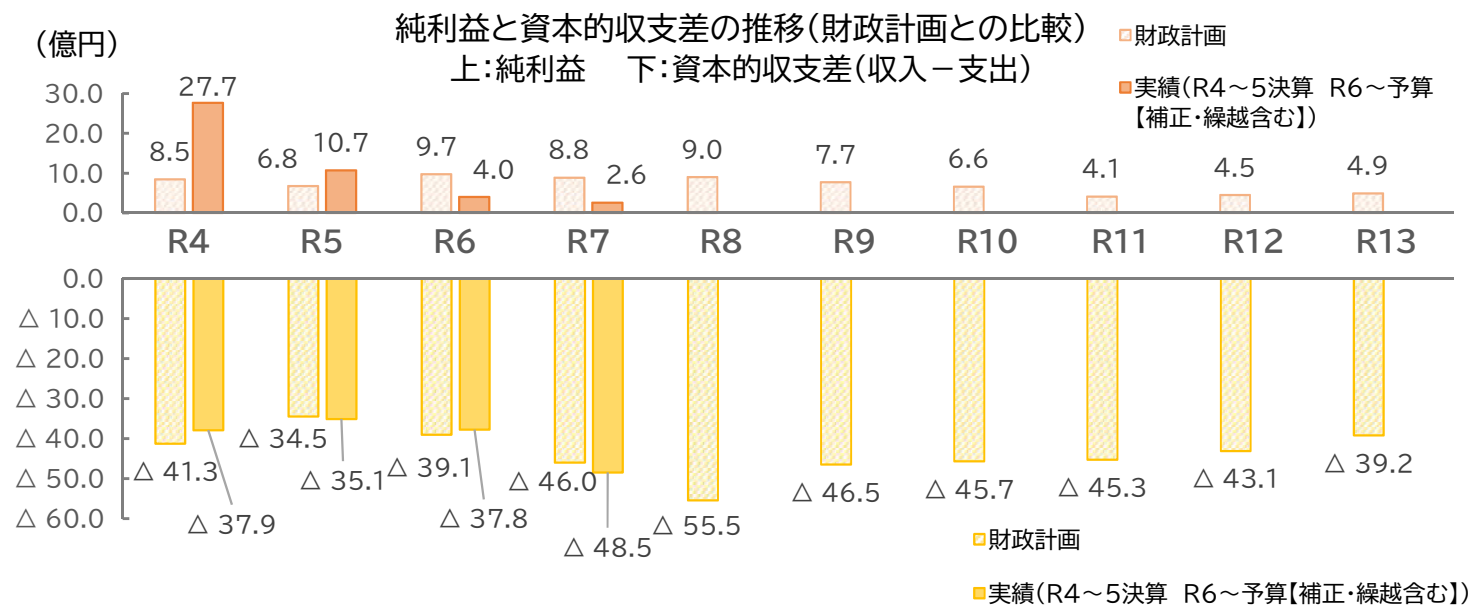
## 企業債の発行・償還・残高の増減

(単位:百万円)

	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算 (繰越含む)	R7予算
発行額(A)	1,658	1,741	1,031	2,034	1,400
償還額(B)	2,237	2,155	1,845	1,703	1,674
残高の増減(A - B)	△ 579	△ 414	△ 814	331	△ 274

- ◆ 他の類似団体と事業規模との比率で比較すると、企業債残高は良好な状況
- ◆ 令和7年度末の企業債は、14億円の発行と16億7千万円の償還を予定し、令和6年度末と比べ、2億7千万円の減少の見込み

## 4. 財政計画との比較



- ◆ 令和7年度予算は、財政計画と比較して純利益は6億2千万円減少し、資本的収支差は2億5千万円増加
- ◆ 工事の進捗などにより、企業債残高は、財政計画と比較して21億2千万円減少し、累積資金残高は、30億8千万円増加

